

3年生引退試合終了。3年生から後輩へ。

～PART2～

男子バスケットボール部(キャプテン:正中佑磨)

僕たちの3年間は長かったように思います。「一瞬のように感じた」という人もよくいますが、決して短くはありませんでした。最高に笑ったとき、めちゃくちゃ悔しかったとき、仲間たちと共に戦ったとき、泣いたとき、そして、後輩という立場から始まった僕たちも時間と経験を積み、いつしか自分たちにも頼もしい後輩ができる、そんな一瞬一瞬をかみしめて行ってきたからこそ、様々な思いが詰まった長くて濃い時間を過ごすことができたんだと思います。

今、残って活躍していく1, 2年生にもそんな時間を感じてほしいと思います。

そのためには、「腐らずあきらめない」ということを心に留めてほしいです。

部活動をしていると、必ず、自分の実力に伸び悩むときがきます。でも、そんな時、「自分には才能がないからいいんだ」「どうせあの子には勝てないからもういい」などと、全てを投げ出してしまっただけでは、自分にしかないものに気が付かないまま終わってしまうでしょう。ふてくされて言い訳を作っている暇があるのなら、0,1 歩でも進もうとあがいてください。

終わりのない壁を登り続けてください。

自分にとっての壁など、越えられないくらいがちょうど良い人です。

「挑む」ことに恐れや、ためらいなど持つ必要はありません。自分と戦い続けながら、一つだけでもいい、自分の誇れるもの、絶対に譲れないものを見つけてください。本当の才能ってというのは、そういうところから生まれてくるのではないかと僕は思います。自分の好きなことにとことん努力してください。

ソフトボール部(キャプテン:岡加奈子)

3年生がソフトボールを3年間やってきて思うことは、ソフトボールで大切なのは仲間と協力することです。これまでの試合では一人一人に課題があったけど、3年生の最後の試合はその課題だった所ができるようになった試合でした。

それは勝ちたいという強い気持ちと、最後なので後悔せずにやり切りたいという思いがあったからです。それを2, 3年の10名みんなで同じ思いで試合に挑めた結果でした。私たちも最初は初心者で出来ないことばかりだったけど、コツコツ練習を積み重ねることで出来るようになったことがたくさんあります。

そしてしんどいことや辛いことも一人では乗り越えられないけれど、仲間がいたから乗り越えられました。

そして誰でもあきらめずに努力をすれば出来るようになるから、くじけずに全力で頑張ってください。

女子バレーボール部(キャプテン:住田愛結)

私たち3年生女子バレーボール部は、全員がバレーボール未経験で入部しました。

先輩方や先生方のおかげで上達し、後輩たちを迎えることができました。

でも入部してきた子は、経験者ばかりで、技術面では負けてしまい、コートに立っているのは、ほとんど2年生でした。悔しくて、悔しくて、でも戦うのはコートに立っている人だけではなく、チーム全員だということに気づき、きつい練習も全員で乗り越えてきました。また、私たち、3年生が先輩方に一番教えていただいたことは、技術面のことではなく、雰囲気の上がる声出し、どのチームよりも一番に動く行動の速さ、無駄のない練習の仕方などの技術面以外のことです。

先輩方から受け継いだことは、私たち3年生も一番大切にしてきたことです。

部活動を通して、技術面はもちろん、日常生活での挨拶、礼儀、また、お互いに支え合うことの大切さ、心でつながることなどを学び、とても成長することができました。私たち3年生が一番大切にしてきた技術面以外のことを一人ひとりが意識し、何でも一人で乗り越えようとせず、チームで一つになって、もっと応援されるチームを作ってください。